

第37回土木史研究発表会

1. 主催 土木学会（担当：土木史研究委員会 <http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/index.htm>）
2. 期日 2017（平成29）年6月24日（土）・25日（日）
3. 会場 東京工業大学 大岡山キャンパス
最寄り駅：大岡山駅（東急大井町線・目黒線） 大岡山東地区 正門まで徒歩1分
緑が丘駅（東急大井町線） 大岡山北地区 緑が丘門まで徒歩1分、緑が丘地区 西門まで徒歩3分
石川台駅（東急池上線） 石川台地区 南門まで徒歩7分
<http://www.titech.ac.jp/maps/index.html>
4. 参加費 会員・非会員：5,000円
学生：2,000円
講演集販売：4,500円
※ 土木史研究委員会のホームページをご参照のうえ、6月14日（水）までの事前申込期間に申込を済ませてください。
5. 懇親会
 - 1) 日 時：2017（平成29）年6月24日（土） 17:30～19:30（予定）
 - 2) 会 場：東京工業大学生協 第一食堂
 - 3) 参加費：一般：4,000円、学生：1,000円
 - 4) 参加方法：当日会場受付で申し受けます昼休みには各種小委員会の会議が予定されています。詳しくは、後日、各委員会よりご案内いたします。

【同時開催】土木史研究委員会HPにて詳細をご確認ください。

◇見学会（土木学会主催）

- 1) 日 時：2017（平成29）年6月23日（金）
- 2) 行 程：詳細は後日、土木史研究委員会HPにて発表いたします。

◇シンポジウム『震災と土木史』（土木学会主催）

- 1) 日 時：2017（平成29）年6月24日（土） 14:50～17:00（受付開始時刻 14:20）
- 2) 会 場：東京工業大学 西9号館 デジタル多目的ホール
- 3) 参加費：無料（シンポジウム会場受付にて、ご記名をお願いします）

6. プログラム

◆6月24日(土)

※会場は、変更になる場合があります

時間	第1会場(本館 H113教室)	第2会場(本館 H114教室)
10:00	開会挨拶 土木史研究委員会副委員長 知野 泰明	
10:15	【地域計画】 司会:山口 敬太(京都大学)	【土木遺産の維持・活用】 司会:北河 大次郎(東京文化財研究所)
	1 明治の県図・村図等から見る地図測量史—長野県に残る地図を中心に— 1 山浦直人(千代田コンサルタント)	8 石垣築様目録の漢数字表の解読と丸亀城石垣形状との比較検証 57 山中稔(香川大学)・山地茂・渡邊蒔也
	2 戦後期における利根川開発をめぐる言説 —石川榮耀の構想に着目して— ★ 7 亀井優樹(千葉大学)・秋田典子	9 近世最大の砂防施設群“別所砂留”(第二報) —七番砂留の修復と今後の維持管理について— ★
	3 Origin of City Planning of Mandalay, Royal City of Burma (Myanmar) in Mid-19th Century ★ 15 山田耕治(日本工営・黒川紀章建築都市設計事務所)・渡辺千尋	65 樋口輝久(岡山大学)・山科直生・秋田哲志
	4 土地区画整理事業の換地計画に関する一考察 11:55 23 築瀬範彦(足利工業大学)・山本芳明・堂柿栄輔	10 登録有形文化財森村橋の修復計画 ～供用下にある歴史的鋼橋の補修・補強事例として～ ★ 69 五十畑弘(日本大学)・溝口久・永富大亮・永村景子
13:10	【橋 梁】 司会:五十畑 弘(日本大学)	【歴史景観】 司会:斎藤 潮(東京工業大学)
	5 山口県下の神社参道上における太鼓橋の研究 ★ 29 森正太郎(徳山工業高等専門学校)・橋本堅一・中川明子	12 欧州の橋梁景観の考え方に関する変遷について ★ 85 鈴木圭(日本大学)
	6 大阪市営電気軌道事業による橋梁の全体像と特質 37 小澤広直(早稲田大学)・佐々木葉	13 大阪城大手前配水池の造形に関する史的研究 89 小川翔大(豊岡市)・岡田昌彰
	7 大阪市・市電事業で建設された橋梁に関する図面調査とその分析 14:25 49 黒山泰弘(都市技術センター)・松村博	14 塩田津における塩田石を用いた 歴史的街路景観デザインの試み★ 91 大瀬花梨(九州大学)・工土くるみ・樋口明彦・榎本碧
14:50	シンポジウム(会場:西9号館 デジタル多目的ホール)	
	シンポジウム 『震災と土木史』	
	● 基調講演 「災害と土木史 災害史、史跡、Eco-DRR」 (60分) 講演者： 島谷 幸宏 (九州大学大学院 教授) (休憩：10分)	
	● パネルディスカッション (60分) パネラー 島谷 幸宏 (九州大学大学院 教授) 伊納 浩 (株式会社東京建設コンサルタント) 西岡 聡 (文化庁) 本田 泰寛 (第一工業大学 講師) コーディネーター 知野 泰明 (日本大学工学部 准教授)	
17:00		

◆6月25日(日)

※会場は、変更になる場合があります

時間	第1会場(本館 H113教室)	第2会場(本館 H114教室)
9:00	【土木遺産と観光①】(企画) 司会:鈴木 圭(日本大学)	【今後の土木史研究に向けて】 司会:天野 光一(日本大学)
	15 An Actual proof of Tokushima's Museum of Bridges ★	28 土木史研究の歴史的展開に関する研究
95	武市修一(徳島県土地開発公社)	171 北河大次郎(東京文化財研究所)
	16 系譜調査を応用した「記憶遺産プロジェクト」の可能性	29 建築物・土木施設に係る伝統工法の保全・活用を通じた地域づくりのスキームについての考察 ★
109	永村景子(日本大学)・辻喜彦・高尾忠志・大森真央	175 西村亮彦(国土交通省)・舟久保敏
	17 土木遺産ツアーにおける土木コミュニケーションに関する研究 ★	30 倉水門の撤去にあたって ★
10:15	113 原口征人(北海道開発技術センター)・岩田圭祐・今尚之・石川成昭	181 樋口輝久(岡山大学)・横手諒・馬場俊介
10:25	【土木遺産と観光②】(企画) 司会:今 尚之(北海道教育大学)	【交通】 司会:小野田 滋(鉄道総合技術研究所)
	18 土木遺産の観光活用のとりくみ(その2)	31 宮崎県における森林鉄道と近代化に関する一考察
117	山浦直人(土木・環境しなの技術支援センター)・小西純一・熊谷圭介・有賀良夫・小野和行・宮澤洋介	185 寺村淳(九州大学)
	19 佐世保市俵ヶ浦半島における軍遺構のトレイル観光への活用	32 近代期の地方都市における民営電気軌道敷設と街路網形成 ★
121	榎本碧(九州大学)・樋口明彦・佐藤直之・富田柚香子・竹林知樹	191 川崎誠登(山梨県)・山口敬太・岩本一将・川崎雅史
	20 インフラツーリズムの魅力に関する基礎的研究 ★	33 『徳川実紀』にみる江戸時代前期の道路行政・制度 ★
11:40	125 阿部貴弘(日本大学)・久松賢生	201 西山孝樹(日本大学)・藤田龍之・天野光一
13:00	【戦後土木施設】(企画) 司会:岡田 昌彰(近畿大学)	【河川】 司会:田中 尚人(熊本大学)
	21 戦後都市施設の歴史・文化的価値の評価基準に関する検討(その2)―街路を事例として― ★	34 愛知県内に築かれた室町時代の河川堤防の考察
133	阿部貴弘(日本大学)・木村優介・大沢昌玄・土井祥子	207 安井雅彦(パスコ)・富永晃宏
	22 戦後土木施設としての高速道路の歴史・文化的価値と評価に関する考察	35 明治28年水害時における高時川の出水状況 ★
137	橋本政子(高速道路調査会)	211 林倫子(関西大学)・鈴木翔太・金度源・大窪健之
	23 戦後ダム施設の歴史的価値に関する 評価基準の検討と評価	36 風俗画報に見る明治43年東京大洪水 ～水害のこわさを知る～
141	中村晋一郎(名古屋大学)・岡田一天	217 村田晶(金沢大学)・安達實・宮島昌克
	24 戦後鉄道土木史の原点としての飯田線線路付替工事とその意義	37 青梅市内の多摩川に関わる呼び名に関する基礎的研究 ★
14:40	145 小野田滋(鉄道総合技術研究所)	221 宮澤祐子(奥村組)・阿部貴弘
14:50	【土木遺産の被災と地域の復興】(企画) 司会:佐々木 葉(早稲田大学)	【ダム】 司会:岡田 一天(プランニングネットワーク)
	25 平成28年熊本地震による歴史的土木構造物の被災状況に関する調査報告	38 電気技術者・森田一雄と水力発電―植民地朝鮮の開発前史として― ★
151	本田泰寛(第一工業大学)・阿部貴弘・北河大次郎	229 谷川竜一(金沢大学)
	26 南阿蘇鉄道の全線復旧に関する まちづくりの諸課題 ★	39 発電用ダム建設の「地域への影響」と「地域・都市」の利益調整 ★
159	田中尚人(熊本大学)・清水奨伍	235 堀川洋子(筑波大学)・佐藤政良・石井敦
	27 熊本地震で崩壊した熊本城石垣の復興と必要最小限補強オーセンティシティ	40 Tetonダムはなぜ壊れたか(その2)? ―原因と教訓
16:05	163 福田光治(大成ジオテック)	239 福島啓一
16:05	若手優秀講演賞表彰 土木史研究委員会発表小委員会	
16:15	総括および閉会挨拶 土木史研究委員会幹事長 岡田 昌彰	